

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公表番号】特表2011-514488(P2011-514488A)

【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-547247(P2010-547247)

【国際特許分類】

F 16 L 55/16 (2006.01)

B 05 B 13/06 (2006.01)

F 16 L 55/18 (2006.01)

【F I】

F 16 L 55/16

B 05 B 13/06

F 16 L 55/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月22日(2012.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パイプ内に機材を配置させる装置であつて、

a) 空洞部を有した本体部と、

b) パイプとスライド式に係合するパイプ係合領域と、

c) 機材の少なくとも一部を受領し、前記本体部に対する所定位置に前記機材を保持する機材保持部と、

を含んでいることを特徴とする装置。

【請求項2】

機材保持部に受領されており、少なくともその一部が空洞部に延び入る機材をさらに含んでいることを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項3】

機材はスプレーヘッドを含んでいることを特徴とする請求項1または2記載の装置。

【請求項4】

パイプ空洞部を有するパイプにおける運用時に、パイプ係合領域は、空洞部の全部または一部がパイプ空洞部外に存在する第1形態と、空洞部の全部または一部がパイプ空洞部内に存在する第2形態との間でパイプ内をスライドすることができることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の装置。

【請求項5】

第1形態では空洞部の全体がパイプ空洞部外に位置していることを特徴とする請求項4記載の装置。

【請求項6】

第2形態では空洞部の全体がパイプ空洞部内に位置していることを特徴とする請求項4記載の装置。

【請求項7】

パイプ内に機材を配置させる装置であつて、

a) パイプと係合するパイプ係合部を有したハウジングと、
b) 該ハウジングとスライド式に係合する本体部と、
を含んでおり、前記本体部は空洞部を有しており、さらに、機材の少なくとも一部を受領し、前記本体部に対する所定位置に前記機材を保持する機材保持部を有していることを特徴とする装置。

【請求項 8】

機材保持部に受領されており、少なくともその一部が空洞部に延び入る機材をさらに含んでいることを特徴とする請求項 7 記載の装置。

【請求項 9】

機材はスプレーへッドを含んでいることを特徴とする請求項 7 または 8 記載の装置。

【請求項 10】

本体部は、空洞部の全部または一部がハウジング空洞部外に存在する第 1 形態と、空洞部の全部または一部がハウジング空洞部内に存在する第 2 形態との間で空洞部に対してスライドすることができることを特徴とする請求項 7 から 9 のいずれかに記載の装置。

【請求項 11】

第 1 形態では空洞部の全体がハウジング空洞部外に位置していることを特徴とする請求項 10 記載の装置。

【請求項 12】

第 2 形態では空洞部の全体がハウジング空洞部内に位置していることを特徴とする請求項 10 または 11 記載の装置。

【請求項 13】

パイプ空洞部を有したパイプ内に機材を配置させる方法であって、

- a) 請求項 7 から 12 のいずれかに記載の装置を準備するステップと、
 - b) 該装置をパイプと係合させるステップと、
 - c) 機材を準備するステップと、
 - d) 該機材を機材保持部と係合させるステップと、
 - e) ハウジングに対して本体部をスライドさせ、前記機材の少なくとも一部をハウジング空洞部内に導くステップと、
- を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 14】

ハウジング空洞部は、装置とパイプとの係合によりパイプ空洞部と連続的になることを特徴とする請求項 13 記載の方法。